

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
池袋駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>○都市計画道路の整備や駅施設及び周辺市街地の再編を契機に、駅前広場、東西連絡通路の整備により、回遊性・利便性の高い歩行者中心のまちに都市構造を転換するとともに、商業・業務・芸術・文化・交流・情報発信機能等の集積する拠点を形成</p> <p>○駅周辺においては、老朽建築物や細分化した敷地の統合など、街区再編の推進と併せて、歩行者ネットワークや緑の創出を図るとともに、造幣局跡地を活用して、防災公園の整備と併せた連鎖的な開発により、木造密集市街地の改善を図るなど、駅周辺の防災性の向上と連動して、地域全体の防災対応力を強化</p> <p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>池袋駅及び周辺市街地の都市基盤の再編と併せて、文化・芸術等の育成・創造・発信・交流等の機能の充実・強化を図るとともに、魅力ある商業、業務機能等を集積し、国際アート・カルチャー都市を形成</p>	<p>○駅及び周辺市街地の再編に併せて、バスターミナルや駐車場等の公共施設を整備するとともに、駅前広場や歩行空間の拡充により、ユニバーサルデザインに配慮した駅周辺の交通結節機能の強化を推進</p> <p>○既存の劇場等の文化施設や道路・公園等の公共空間とも連携し、芸術・文化の情報発信・育成・交流・産業支援機能、にぎわいを強化する商業機能を積極的に充実・強化</p> <p>○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化</p> <p>○駅周辺では、老朽建築物や細分化した敷地の統合などの街区再編の推進により業務・商業機能の更新を図るとともに、防災公園整備と併せた木造密集地域の改善を図る連鎖的な開発の実施や既存ストックの活用等により、多様で持続的な地域活動・コミュニティの形成を支える居住・生活支援機能の強化</p> <p>○造幣局跡地において、文化・交流機能(教育・研究)の整備促進</p>	<p>○都市計画道路(環状5の1号線・補助81号線等)の整備を契機に、駅前広場の改良等により、駅周辺の自動車交通の転換を図り、安全・安心の歩行者空間を創出</p> <p>○駅施設や周辺市街地の再編に併せて、地域の回遊性、乗換利便性、防災性の向上を図る歩行者ネットワークの形成を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の東西を連絡する地下通路の拡幅・整序 ・地下通路と地上部との連続性・一体性の確保 ・駅と周辺市街地との回遊性の向上と地域の防災力を高める東西連絡通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保 <p>○都市開発事業と併せて、駅前広場を再編し、バスターミナル・駐車・駐輪・荷捌場施設などの整備を促進</p> <p>○乗換利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した、安全で快適なターミナル機能を強化</p>	<p>○池袋駅中心地区においては、街の玄関口にふさわしい、個性ある美しい都市空間の形成を促進</p> <p>○木造密集地域においては、従前の居住機能の確保及び周辺市街地の都市環境や街並みとの調和、建物の形態・色彩など、良好な都市景観の形成等に十分配慮し、都市開発事業や既存ストックを活用したリノベーションを促進</p> <p>○駅周辺においては、まちづくりの取組みと防犯対策の連携・協働により、安全・安心で魅力ある繁華街の再生を促進</p> <p>○公民連携によるエリアマネジメントにより、公的空間の管理・運営、まちなぎわいや魅力を発信する取組を推進</p> <p>○都市開発事業において、敷地内・屋上・壁面緑化等により、ヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により、地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立・分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導</p>

		<p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実</p>	<p>○地域に点在する文化・芸術資源をいかし、情報発信や国内外からの来街者が楽しみ、地域の人々と交流することができるにぎわいのある公園・広場等の整備を促進</p> <p>○造幣局跡地において、地域全体の防災力強化のため防災公園の整備を推進</p> <p>○公共的空地や道路沿道の緑化、遮熱性舗装などの実施により、ヒートアイランド現象の緩和を推進</p>	<p>○大規模災害発生時における駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進</p>
--	--	---	--	--

地域整備方針

(相模原市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>相模原橋本駅周辺・相模原駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 リニア中央新幹線神奈川県駅の設置や圏央道の開通など、広域交通基盤の強化によるポテンシャルを最大限に生かすとともに、相模総合補給廠の一部返還等の効果を活用し、相模原・橋本両駅周辺が相互に魅力を高め合い、高次都市機能が集積する一体拠点として、首都圏南西部の持続的な成長の源泉となる広域交流拠点を形成するとともに、敷地の共同化や橋本駅に近接する大規模工場跡地の土地利用転換等により、多様な都市機能をもった複合市街地を形成</p>	<p>○橋本地区については敷地の共同化により、また、大山町地区については大規模工場跡地の土地利用転換により、商業・居住・周辺都市と連携を視野に入れた交流等の都市機能を拡充・強化</p> <p>○橋本駅南口地区については後背地に有する産業集積や「さがみロボット産業特区」制度を活用するなど、産業交流拠点を形成</p> <p>○橋本駅南口地区については首都圏のハブ機能を担い、国際的に開かれた人・情報・文化が交流するターミナル機能を強化</p> <p>○相模原駅北口地区については相模総合補給廠の一部返還地を最大限に活用し、国際コンベンションや文化交流などの都市機能を導入</p> <p>○産業交流機能等の導入においては、橋本駅南口地区と相模原駅北口地区が相互に連携した都市機能の拠点を形成</p> <p>○災害に強い市街地の形成に向けた建築物の耐震化や不燃化等の防災機能の向上</p>	<p>○相模総合補給廠一部返還地等を活用した広域的な防災拠点機能の検討</p> <p>○リニア中央新幹線の駅設置や相模総合補給廠の一部返還等により、多様化する交通手段を支えるための交通広場の再整備</p> <p>○JR横浜線連続立体交差化の検討</p> <p>○圏央道相模原インターチェンジや多摩方面、国道16号からのアクセス強化を検討</p> <p>○橋本駅南口地区へのアクセス道路の整備</p> <p>○相模総合補給廠一部返還地を活用した相模原駅北口地区へのアクセス道路の整備</p> <p>○地域内の回遊性を確保する歩行者ネットワークに配慮した歩行者導線を形成</p>	<p>○リニア中央新幹線神奈川県駅からJR横浜線・相模線や京王相模原線への乗り継ぎ利便性や駅機能を向上</p> <p>○公共交通機関や自転車等の利用促進によるエネルギー削減、低炭素型のライフスタイルに対応したまちづくりの検討</p> <p>○広域的な交流ゲートの「顔」として、首都圏南西部の広域交流拠点にふさわしい都市景観の形成</p> <p>○橋本駅周辺地域については、一次滞留可能な空間の確保など広域的なターミナルとして、帰宅困難者対策などを推進</p>

地域整備方針

(名古屋市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>名古屋駅周辺・伏見・栄地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JR・名鉄・近鉄等の広域交通結節点にあり、中部国際空港に直結する名古屋駅の周辺地域から、商業・業務機能の集積する栄地区にかけての都心地域において、建築物の更新等により、名古屋の玄関口及び中心にふさわしい、安心・安全で国際的・広域的な商業・業務拠点を形成 ○この際、名駅通・広小路通・久屋大通等沿道地区においては、量感のあるにぎわい空間を創出 ○ささしま地区では、大規模貨物駅跡地の土地利用転換による先導的な都市拠点を形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模工場跡地等の土地利用転換により、都心居住や商業など複合的な機能を有する都市拠点を形成 ○道路・公園などの豊かな公共空間の活用を図ることにより、商業機能や文化・娯楽機能の集積を促進し、にぎわいや憩いとうるおいにあふれた空間を創出 ○リニア駅の上部空間の有効活用とその周辺街区を含めた面的整備により都市機能を強化 ○大規模災害時に滞在者等が集中する地区周辺において、大規模工場跡地や大規模貨物駅跡地等の整備にあわせた一時退避場所の整備等により、滞在者等の安全を確保する機能の強化を検討 ○太閤地区において、老朽化建物の更新・土地の共同化による防災機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○広小路通、桜通、久屋大通及び大津通沿いの建築物の更新等の際に、壁面後退により、ゆとりとにぎわいを演出するための歩道状空地を確保するとともに、地下街と建築物の接続部分において広場を確保すること等により、歩行者空間を充実 ○名古屋駅の駅前広場と連続した敷地内空地の確保により、駅前広場の機能を補完 ○まちづくりと一体となった親水空間の形成や水質浄化など、堀川の水環境整備 ○テレビ塔の再生を含む久屋大通公園の再整備 ○大規模災害時に滞在者等が集中する地区周辺において、退避経路や情報通信設備等の退避誘導の円滑化に資する施設整備を検討 ○地区内の交通アクセスや周辺交通の円滑化等に資する都市計画道路椿町線、笹島線等の整備 ○中川運河船だまりの親水空間化等や、水質浄化による、安全でゆとりのある歩行者空間を形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○広小路通に面した地域などにおいて、通りに面する建築物の低層に商業・文化・交流機能を導入すること等により、連続したにぎわいの確保に寄与する都市開発事業を促進 ○街区内で土地を集約化することにより、風格があり土地の有効利用に資する都市開発事業を促進 ○地下街の防災性を向上させるため、地下街に接する建築物について、更新時に地下街接続部分に広場を確保した都市開発事業を促進 ○大規模災害に備え、民間施設の防災機能を高めるため、建築物の耐震化を促進するとともに、帰宅困難者対策として備蓄倉庫や退避施設等を導入した都市開発事業を促進 ○大規模災害を想定した訓練の実施や地域内企業の事業継続計画の作成の促進や適切な運用を図る等、ソフト対策を充実 ○地域冷暖房等を導入した都市開発事業を促進 ○栄周辺地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進

	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>J R・名鉄・近鉄等の広域交通結節点にあり、中部国際空港に直結する名古屋駅周辺地域と、商業・業務機能の集積する栄地区の2核一体の都心部において、リニア中央新幹線の整備を見据え、豊かな公共空間等を活用しながら都市のモビリティを高めるとともに、モビリティ産業に関わる企業・人材や、文化交流を支える都市機能の集積を促進することで、名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい、高い国際競争力を発揮する世界的先進地区を形成</p>	<p>○リニア開業の機会を最大限に活かし、名古屋駅周辺地区におけるリニア駅周辺の面的整備の推進や乗換え利便性向上に資するターミナル機能の強化、栄・伏見地区における文化・観光・交流機能等の導入による、うらおいとにぎわいのある空間の形成を通じた、広域的・国際的な商業・業務機能の集積の促進</p>	<p>○リニア開業を見据え、国内外の交流促進に寄与する中部国際空港へのアクセス強化と、乗換え利便性向上に資するターミナル機能の再編及びその関連施設の整備促進</p> <p>○高次都市機能及び広域ターミナル機能を有する名古屋駅地区から、国際歓迎・交流拠点のささしま地区や国際物流拠点の名駅南地区への歩行者のアクセス改善を図り、各地区の一層の開発を誘導促進するため、新たな歩行者空間の整備を実施</p> <p>○栄地区において、都心のシンボルである久屋大通をはじめとする豊かな公共空間の整備</p>	<p>○下水処理水の熱等を利用する地域冷暖房等を導入した都市開発事業を促進</p>
--	---	--	---	---

地域整備方針

(京都市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>京都駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 京都の玄関口である京都駅及びその周辺において、梅小路公園敷地への京都水族館・鉄道博物館の建設による魅力向上により見込まれる年間500万人の集客、JR西日本山陰線新駅設置により飛躍的に向上する交通利便性を活かし、「新たな集客施設」、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録を契機とした「京の食文化」、「産学公連携の新産業創出」などの新たな京都の魅力づくりをめざし、大規模低未利用地の土地利用転換等による戦略的な土地利用の促進を図ることにより、災害にも強く、観光客を含む様々な人々が交流できる広域的かつ多機能な複合拠点を形成</p>	<p>○駅前立地及び新駅設置に伴う交通利便性の向上を活かし、情報化に対応した業務機能、観光客等広域的な集客機能を持つ商業・観光・文化・交流機能等多様な都市機能を集積</p> <p>○京都市中央卸売市場第一市場整備に伴う「賑わいエリア」からのインバウンドに資する京の食文化の発信や「有効活用地」の活用</p> <p>○拡幅整備された五条通沿道への新産業の創出につながる産業クラスターの形成や新たな商業機能の誘致</p> <p>○大規模災害時においても、各種都市機能への影響を出来る限り軽減し、滞在者の安全を確保するための防災性の向上</p>	<p>○バス・タクシー乗降場の機能充実をはじめとする交通結節機能の強化や安全性にも配慮した歩行者のためのゆとりある空間創出等に資する京都駅南口駅前広場再整備</p> <p>○JR西日本山陰線新駅の設置とあわせ、駅周辺歩行者空間の再整備、七条通を横断する歩道橋を整備</p> <p>○域内交通処理の円滑化のための地区内道路の再整備</p> <p>○大規模災害時における地域内の公共施設の機能の確保及び帰宅困難者を含む滞在者に対する避難場所・物資・情報の提供のための施設確保</p>	<p>○京都駅から世界遺産である東寺の景観を阻害せず、東寺や京都駅ビルの高さと調和する、都市の歴史的景観特性に配慮した都市開発事業の推進</p> <p>○歩行者ネットワークの充実等、新駅を軸に人と公共交通優先のまちづくりの推進</p> <p>○エリアマネジメントによる地域の活性化の取組</p> <p>○都市開発事業の契機等をとらえ、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間等を確保するための支援・誘導の実施</p> <p>○都市開発事業において、都市型災害に備えた安定的なエネルギーシステムの導入を誘導</p>

地域整備方針

(北九州市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>小倉駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 北部九州圏の拠点として歴史的に発展してきた小倉駅周辺において、既存の都市基盤を活用しつつ、土地の集約化や建物の更新等により、北九州市の都心にふさわしい、環境・景観・防災面に配慮した多様な機能を有する都市拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○都心にふさわしい業務機能の集積や、広域商業拠点の形成と文化・交流機能の誘導を図る ○居住機能の導入や医療・社会福祉施設、子育て支援施設等の充実によりまちなか居住を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○小倉駅周辺の交通の円滑化と快適な歩行者空間を確保するため、都市計画道路博労町線等の整備や歩行者ネットワークの形成を図る ○北九州市のシンボルである紫川の環境整備による、市街地と一体となったうおいと魅力ある都市空間を形成 ○小倉駅新幹線口のまちなかスタジアムおよび周辺の公共施設整備による賑わいの創出と小倉駅南北の賑わい連携を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○紫川において、水辺環境との調和と親水性の確保に配慮した都市開発事業を促進 ○公共施設整備や都市開発事業を契機とした、一時滞留可能な空間等の確保や備蓄倉庫設置等の誘導や支援の実施

地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 大阪都心地域において、鉄道の交通結節点として大阪の北の玄関口たる大阪駅、水の都・大阪のシンボルである中之島、大阪のメインストリートである御堂筋沿道を中心とし、既存の都市基盤の蓄積等を生かしつつ、風格ある国際的な中枢都市機能集積地を形成 特に、大阪駅周辺においては、既存建築物の更新等に加え、梅田貨物駅を早急に移転し、その跡地の土地利用転換により先導的な多機能拠点を、中之島においては、堂島川・土佐堀川に囲まれた地域特性を生かしつつ京阪中之島線の整備によるアクセスの向上等と併せ、低未利用地の土地利用転換などによる業務・文化・交流中枢拠点を、御堂筋周辺においては、老朽化した建築物の更新等による業務・商業等の機能を高度化した集積地を形成</p>	<p>(大阪駅周辺) ○国際的な中枢業務機能、学術・研究機能、商業機能、情報発信機能、居住機能等の都市機能のより一層集積した複合市街地を形成 ○JR・阪急・阪神・地下鉄の交通結節点である大阪駅周辺等において、歩行者空間の充実や、駅前広場の確保等を図り、交通拠点機能を強化</p> <p>(中之島) ○就業者や来訪者にとって憩いやゆとりある空間等の形成を図りつつ、中枢業務機能を充実また、併せて、商業・宿泊機能等を導入</p> <p>(御堂筋周辺) ○御堂筋沿道においては、内外からの企業集積とIT等を活用した新しいビジネス創出に向けた業務・商業機能の高度化</p>	<p>○大阪駅周辺地区の交通拠点性、南北・東西方向の交通機能の強化を図るため、幹線道路を整備するとともに、大阪駅北側の駅前広場を新設</p> <p>○完成した京阪中之島線の新駅と一体となって、地区の回遊性を高めるため、新駅と民間ビルを接続する地下通路、歩行者専用道、中央緑道等の整備による快適な歩行者空間の充実・拡充 さらに、地下ネットワークを検討。併せて、水上交通基盤の整備を地域において検討</p> <p>○鉄道の整備に併せた公園の再整備、歩行者専用道等の整備による緑豊かな親水空間の創出</p> <p>○風格ある街並み形成、防災性の向上を図るため、御堂筋沿道における歩道と一体となった敷地内の歩行者空間の確保</p>	<p>○大阪駅周辺においては、大阪の顔にふさわしい建築物等の意匠や形態についての配慮など、風格ある景観形成に資する都市開発事業を促進</p> <p>○地域で共有できる大規模災害発生時の行動に関するルールの策定等、ソフト対策を公民連携で推進</p> <p>○水辺空間の利用や水辺景観に配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○ブランドストリートとして、御堂筋の賑わいを創出するなど、公民連携による御堂筋の多面的な利活用</p>

		<p>この際、防災性の向上とゆとりとうるおいある都市空間形成のため、建築物の耐震化や建築物の壁面後退部分の歩行者空間を整備。なお、風格ある市街地形成の観点から、淀屋橋から心齋橋までの間においては、風俗関連施設の立地を制限</p> <p>○御堂筋の周辺においては、御堂筋沿道と連携した業務・商業機能、文化機能、居住機能等を充実</p>	<p>○ギャラリー・ホールなどの文化施設等の導入</p> <p>○親水性を確保するための道頓堀川の環境整備</p>	<p>○大阪のメインストリートにふさわしい風格あるまちなみの形成を図るため、御堂筋に面した建築物については、壁面の位置などまちなみの連続感に配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○道頓堀川沿川については、水辺を活用した都市開発事業を促進</p> <p>○ミナミ及びその周辺地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により魅力ある繁華街の再生を促進</p>
<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>国内外の都市に通じる我が国を代表するターミナルを有し、美しく風格あるまちなみや豊かなみどり・水辺空間が形成されているなかで、多様な都市機能が高度に集積する大阪駅周辺、中之島、御堂筋周辺において、大阪、関西のみならず国土の発展、成長をけん引する国際競争力を備えた拠点を形成</p> <p>このため、国際レベルの人材・企業の活動の受け皿となり、これを支える空間・基盤を整備するとともに、この地域に集まる多様な人々の交流を通じ、新たな価値・情報・文化等を創出する知的創造拠点機能を強化</p> <p>また、海外の人々を惹き付ける文化機能を整備するとともに、大阪・関西の観光魅力の一層の向上に向けたインバウンド機能、海外からの来訪者の</p>	<p>（大阪駅周辺）</p> <p>○国内外の交通の要衝地である特性を活かし、うめきた地区、大阪駅及び大阪駅南側地区において、道路上空の建築敷地としての活用などにより海外企業の誘致に向けた環境整備につながる都市開発等を促し、国際的な中枢拠点機能等の集積をさらに促進</p> <p>○うめきた先行開発区域では、上記機能の集積や立地特性を生かし、「感性」と「技術」が融合し新たな知的価値の創出をめざす知的創造拠点ナレッジキャピタルを形成</p> <p>○うめきた2期区域では、斬新で魅力ある都市空間を創出し、防災機能を備えた「みどり」を軸としたまちづくりをめざすとともに、我が国に新たな国際競争力を獲得させるイノベーションを生み出し、大阪・関西の発展を牽引し、国の成長に寄与</p>	<p>○国際競争力の向上を図るため、アジアを始めとする世界のゲートウェイである関西国際空港へのアクセス性向上を目的とするJR東海道線支線地下化と新駅設置の推進、及びなにわ筋線の整備について検討</p> <p>○うめきた地区では、土地の高度利用と合わせ、緑化やオープンスペースの積極的な導入による良好な都市環境を創出</p> <p>○大阪駅周辺における回遊性を高めるため、南北連絡通路等の整備や、道路上空の建築敷地としての活用による重層的な歩行者空間の充実など、歩車分離を基本とした快適な歩行者空間を形成</p>	<p>○大阪駅周辺では、国際的な中枢拠点にふさわしく、環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営をめざし、先進的な新・省エネルギー技術等の導入、地下街等の防災性の向上、大規模災害時の帰宅困難者対策やBCPへの対応、及びエリアマネジメントを推進</p> <p>○うめきた2期区域では、未利用エネルギーや再生可能エネルギー、蓄電池等を利用し、環境負荷が少なく、地区全体でエネルギーの融通・相互利用や需給抑制などを行うエネルギーマネジメントシステムの構築を推進</p>	

	<p>増大に向けた MICE 機能を強化さらに、国際ビジネス、学術、創造などの高次な都市機能を担う人材が、快適に居住できるよう、ハイグレードなレジデンス機能を強化するとともに、これを支える生活利便施設を導入</p>	<p>○都市開発にあわせて、大規模災害時における滞在者や従業員等のターミナルへの集中による混乱回避や一斉帰宅の抑制につながる一時退避施設等の都市防災機能を整備促進</p> <p>(中之島)</p> <p>○これまでの業務・文化・MICE 機能の集積に加え、新美術館の整備を核に、未利用地の土地利用転換を図り、ハイエンド人材の育成に資する大学等の高等教育施設を導入するなど、これらが連携・調和し相乗効果を発揮するまちづくりを実現</p> <p>○あわせて、都市型 MICE 機能、国際学校、レジデンス等の導入など国際ビジネスサポート機能の拡充につながる都市開発を促進し、国際的な業務・文化・学術・交流拠点を形成</p> <p>(御堂筋周辺)</p> <p>○御堂筋沿道での高さ制限の規制緩和等により、高規格オフィスの実現など業務機能の高度化や、ビジネスサポート機能として的高级賃貸レジデンスの導入など、多様な機能をあわせ持つ国際レベルのビジネス地区を形成</p> <p>○また、心齋橋エリアでは、インバウンド機能が充実した先進的商業空間を創出し、周辺と一体となった世界の観光拠点を形成</p>	<p>○中之島四丁目での新美術館の整備により、既存の国立国際美術館・市立科学館とのミュージアムトライアングルを形成し、国際的な文化・芸術機能を強化</p> <p>○国際競争力の向上を図るため、関西国際空港や新大阪駅へのアクセス性向上を目的とするなにわ筋線の整備を検討</p> <p>○御堂筋周辺を大阪の顔にふさわしい世界的なブランドストリートとして魅力を向上させるため、道路空間を再編し、御堂筋に面する壁面後退部分と一体となった、歩行者が楽しみながら安心して歩くことができる空間を形成</p>	<p>○国際的な業務・文化・学術・交流拠点にふさわしく、環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営をめざし、河川水を利用した地域冷暖房システム等の先進的な新・省エネルギー技術の導入や、帰宅困難者対策等の防災対策、エリアマネジメントを推進</p> <p>○御堂筋沿道の淀屋橋から本町までの区間で、業務機能を軸としつつ、上質なにぎわいが調和するビジネスゾーンを形成するため、高さ制限の規制緩和等をしつつ、御堂筋に面した壁面の連続性や 50m の軒線の強調を図り、低層部に店舗・文化施設の導入を誘導するなど、世界的なブランドストリートとしてまちなみに配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○土地の有効高度利用を進めるため、敷地の共同化を図り、まとまった規模の開発を誘導する大街区化を推進</p>
--	---	---	--	---

				<p>し、国際水準の高規格なオフィス機能や商業機能を導入するなど拠点的な整備を促進</p> <p>○環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営を目指し、新たなエネルギーシステムの構築、防災対策、エリアマネジメントを推進</p>
--	--	--	--	--